

東京湾再生官民連携フォーラム 平成 30 年度 第 1 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 22 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00
2. 開催場所 虎ノ門法経ホール
東京都港区西新橋 1 丁目 20 番 3 号 虎ノ門法曹ビル B 1

3. 議事次第

《審議事項》

- (1) 平成 29 年度事業報告 (案)、決算 (案) 及び監査結果について

《報告事項》

- (1) 東京湾での海水浴復活方策の検討 P T 政策提案について
- (2) 平成 30 年度 P T 活動報告および P T の政策提案スケジュール
- (3) P T 長会議について
- (4) 東京湾再生アンバサダーの任命式報告
- (5) 東京港野鳥公園干潟見学会報告
- (6) その他

4. 出席者 (敬称略)

來生委員長、佐々木委員、中村委員、古川委員、井上委員、岡田委員、木賊委員、小野代理、芦代理、工藤委員、田久保委員、木村委員、竹口委員、田中代理、富山代理、三宮代理、成川代理、山本委員、富樫代理、山崎代理、市原代理、羽田委員、稲津代理、近藤委員、上野代理、岩田代理、佐久間代理、小山代理、夏目委員、細川 (事務局) 31 名出席

5. 議事メモ

5-1 開会

(1) 事務局確認事項

出席委員の確認 (新委員 : 天野委員、羽田委員、吉澤委員、鹿志村委員、黒沢委員、夏目委員)
配布資料の確認

(2) 開会挨拶 (委員長)

平成 30 年度第 1 回目の企画運営委員会である。審議事項として、平成 29 年度事業報告、報告事項として海水浴復活の政策提案がまとまりつつある。総会に向けて議論をお願いする。

5-2 議事

《審議事項》

- (1) 平成 29 年度事業報告 (案)、決算 (案) 及び監査結果について

【決定事項】

平成 29 年度事業報告（案）、決算（案）及び監査結果提案のとおり承認された。

（事務局説明）

資料 1-1、1-2、1-3 を用いて説明

資料 1-1 平成 29 年度事業報告（案）について

事業については、前回の会議においても途中経過を報告しているため、詳細説明は省くが、新たに①p42 P T 長会議開催内容を追加して記載。②p46 フォーラムの活動について、他の地域で紹介しているため、その実績を一覧表に整理して追加して記載している。Ⅱの事業成果について特徴的なところを説明する。CSR—NPO 未来交流会を事務局主体で開催している。中でも千葉自然学校と企業とのマッチング例などを講演して頂いている。施設見学会は新日鐵住金の研究施設を見学した。各 P T の活動については、東京湾の窓 P T はスタンプラリーを開催し、仕組みとして横の繋がりが始まっている。東京湾大感謝祭は天候の影響もあり参加人数は少なかったが、フォーラムの諸活動の結節点として重要な役割を果たしている。

資料 1-2 平成 29 年度決算（案）、貸借対照表、財産目録、監査報告

事業活動を支えた決算を説明する。収入の部は、パートナーシップ契約により（一般財団法人）セブン-イレブン記念財団様から 400 万円を支援していただいている。寄附金は個人から頂き、雑収入は交流会参加費などである。

支出の部は、事務局経費として人件費など。フォーラム事業費は、広報活動や交流会の会場費などに支出した。

資料 1-3 フォーラム監事監査指摘事項

監事監査を受け、活動状況や決算は適正ということで承認いただいている。指摘事項としては「特に、タイムスケジュールを気にした活動が大切。」「P T 長の社会的影響力もあり意義も大きいので、P T 長会議でも全体の方向性の議論を深めたらどうだろう。」「大感謝祭は重要だが、その規模のみならずアウトカムとなる成果についても気にしてほしい。」などご助言を頂いた。

【審議経過】

特に質問なし

【來生委員長】

監事のご意見に関して、今年度の活動にできるだけこの主旨をいかして反映させる工夫ができるよう、事務局と一体となって、この委員会でもご意見を頂きながら進めたい。

《報告事項》

（1）東京湾での海水浴復活方策の検討 P T 政策提案について

【報告】（事務局）

資料 2-1、2-2、2-3 を用いて説明

昨年総会でもう少し検討して良いものにしようということで、事務局と P T で検討

議論し、さらにみなさまのご意見を頂き、現在の時点での文案が資料の2-2となる。

書き方・文言や用語を含めてご指摘を頂いている。資料2-1がご意見に対する対応表となる。ご指摘の点ではp4の具体的なエリア例示を修正、p5のふん便性大腸菌に対していくつかご意見を頂いており、表現を修正、p8は「重要である。」の表記については、提案として受け取りにくいので表現を変更している。

資料2-2がこの対応を受けた修正後の文案となっている。

資料2-3 一般的な政策提案の検討手順を示したフロー図である。裏面が海水浴復活方策の政策提案にあてはめたフロートと今後の予定である。7月の企画運営委員会での審議予定で進んでいる。

【報告】(PT)

PT側からの補足説明は無し

【來生委員長】

資料2-2をご覧ください質問・意見などお願いします

【井上委員】

タイトルが「東京湾」となっているが、対象はどこか、湾全域なのか湾奥なのか、また、「湾岸に住む人々」と修正しているが、湾岸だと沿岸地域に限定されるが、言葉の使い方として、対象をどこにするかによって、使い方を変えたほうが良いのではないか。

【田中代理】

現在、湾奥での海水浴を増やしたいのが実際に、また事務局と相談して検討していく。

湾岸を言い換えるとしたら流域と思うが、これも併せて検討していく。

【三宮代理】

資料2-2p6 高度処理に関して、この制度は効率的な処理場が、効率の悪い処理場の肩代わりしている制度となる。

この箇所は削除をお願いしたが、事務局としては残された。表現として「・・・適応を拡大する等の方策を・・・」の記述部分は、法の適用を拡大するような表現となっているので、法の趣旨・仕組み上困難である。残すのなら例えば、「高度処理共同負担制度の考え方に類するような方策」という表現にして欲しい。

【田中代理】

高度処理共同負担制度には画期的で非常に感銘を受けた。現行の下水道法がこうなっているからできませんと言う話じゃないと思ったので、こういう書き方をした。書いた文章の中で、例えばとして、いろんな方策を考えてやっていく、こういったことが何とか適用できないかなと思っている。それともっとみんなに知ってもらおうという意味で残したい。具体的に指摘いただければ修正できるとことは修正したいと思う。

【來生委員長】

高度処理共同負担制度の言葉は残す。「適応範囲の拡大」となると狭い意味となるので、少し文言を検討していただくということをお願いします。

【市原代理】

今後のスケジュールの「自治体の意見交換」は、具体的にはどの範囲となるか。

【事務局】

この案件に関しては、各自治体では関連する部局が多い。事務局の方からの提案として、自治体からのお集まりの方が窓口になっていただき、本日いただいたご意見をもとに修正した提案内容を事務局からお送りするので、関連部局へ意見照会を実施していただき、意見集約をしていただく方策を提案したい。その後、必要ならばお集まりいただき検討する。

【市原代理】

今回意見を提出する際、関係市や県の関係部局への照会をかけて実施した。意見集約の方法に関しては、問題はない。

【來生委員長】

6 月には湾岸の自治体が意見集約していただいたものを情報交換する。7 月に企画運営委員会で決定し 10 月の総会に諮り政策提案としていく予定とする。

(2) 平成 30 年度 P T 活動報告および P T の政策提案スケジュール

①東京湾大感謝祭 P T

【報 告】 (木村 PT 長)

資料3-1-1、3-1-2を用いて説明

東京湾大感謝祭2018への出店のお声がけをお願いします。この場で感謝祭の実行委員会事務局吉野を紹介する。実行委員会から出展参加のお願いやご協力のお願などあるとおもうので、是非よろしくお願したい。

今年もさまざま企画を考えているが、さらにみなさんにも企画提案をお願したい。現状の出展申し込みは、資料3-1-2となる。予算はご報告している通りだが、多くの方々に伝えて、国民の機運を高めていくのは、重要なことと考えている。

また、まだ個人的な考えだが、会員番号を付した会員カードを配布して、「私は東京湾のために〇〇をします」などをカードに記載すると共に、3000万人番号カードの発行をめざしたい。前回の会議で発表した「東京湾に感謝する日」の制定も提案していきますので、是非ご検討審議お願する。

②東京湾環境モニタリング推進 PT

【報 告】 (古川 PT 長)

資料 3-2-1、3-2-2 を用いて説明

昨年調査を取りまとめ解析して東京湾環境マップ Vol. 12 が発行できた。残部もあるので、是非、お声がけください。

今年も東京湾環境一斉調査の実施、生物調査を実施していく。

今年は分科会メンバーも大幅に入れ替わり、体制の再構築が必要で、生物調査の政策提案は出せないが努力していく。

③生きもの生息場づくり P T

【報 告】（佐々木 PT 長）

資料3-3を用いて説明

第2期第8回PT会議をみなと総研会議室で開催。平成29年12月26日に実施した、東京湾茜浜前面海域におけるマコガレイ産卵場調査結果の第一報が報告された。全27点において、ほぼすべての測点でマコガレイの卵が確認された。

東京湾大感謝祭のPT出展に関しては、生き物の水槽展示については、今年は負担を軽くするため他との出展調整を考えていく。

「マコガレイ産卵場の底質改善」のフォローアップについて引き続き協議していく。5月2日に第2期第3回幹事会を開催した。新たな政策提案の検討を開始することにし、6月20日に幹事会を開催予定としている。

④指標活用 P T

【報 告】（岡田 PT 長）

資料3-4を用いて説明

二つのWGを立ち上げている。

第 1 回市民データ WG：4 月 17 日：今年度の市民データの収集方法について議論している。7 月 8 月にアンケート調査へのご協力をお願いします。

第 1 回データ整理・評価 WG：5 月 9 日：海浜公園等の施設利用者数のデータ収集方法について議論している。透明度、CODのゾーニングについて議論している。

今後も2か月に1回の割合で会合を開催していく。

※ 東京湾大感謝祭の展示WG担当として、フォーラムのブースがあり、今年度も各PTの出展をお願いします。また、東京湾の環境に関する企画を検討しているので、みなさまへのパネル出展のご協力をお願いします。

⑤江戸前ブランド育成 P T

【報 告】（富樫代理）

資料なし。現在PTのメンバーの追加など検討含め、再構築を行っている。今後政策提案などに向かって進めていきたい。

⑥パブリックアクセス P T

【報 告】（竹口 P T 長）

資料3-5を用いて説明

最終的な政策提案を目指して、何とかとりまとめを進めていきたい。31年度あたりにとりまとめを実施想定、またPT活動も時間がたつと疲れがでるので時間を区切って望みたい。

⑦東京湾の窓 P T

【報告】 事務局代理

資料 3-6 を用いて説明

無理しないのでできるものから進めている。ブレインストーミングを行い資料項目 1～8 ま

で、課題も含めての取り組みアイデアが出ている。面白いアイデアもあり、今後が期待できる。

⑧東京湾浅場再生実験 P T

【來生委員長】

本日 P T 長はご欠席で資料なし。

【來生委員長】

連続的にご説明したが質問やご意見があればお願いします。

【古川委員】

モニタリング P T として東京湾環境マップを作成している。昨年度は、環境マップの裏面には、東京湾の窓 P T のご協力いただいた。またフォーラムの発信のツールとして活用でき、イベントなどでも配布できる。各 P T でのアイデアと協力がありましたらご連絡をお願いします。

【富樫代理】

東京湾大感謝祭の早期割引で、P T に所属している組織にも、割引適応があると P T のメンバー拡大にもつながると思う。

【木村委員】

早急に検討する。そのような優遇があつてしかるべきだと思う。

(3) P T 長会議について

【報 告】（事務局）

資料4を用いて説明

監事からのご助言も頂いたので P T 長会議を今年も実施する。他の P T との連携の仕方や発信の仕方などのノウハウの交流ができたらと思う。幅広く議論ができればと思っている。早めに日程調整を実施するので、P T 長のご都合が悪ければ、P T 長代理の出席など含め、対応方よろしくをお願いしたい。

(4) 東京湾再生アンバサダーの任命式報告

【報 告】（事務局）

資料5を用いて説明

東京湾再生アンバサダーの当初任期が終了し、榊アナウンサー、ガリガリ君の内諾を経て、再度お願いするという事で任命式を実施した。榊アナウンサーの任命式にはマスコミ 4 社の取材があり、來生議長からの任命書の手渡しが行われた。ガリガリ君の任命式は別途調整中。

【木村委員】

柘アナウンサーは永久にアンバサダーの意向もあるようで、活躍が期待できる。

(5) 東京港野鳥公園干潟見学会報告

【報 告】（事務局）

資料6を用いて説明

5月14日の東京港野鳥公園休館日に見学を実施した。関連あるPTにお声掛けをした。歴史ある公園で埋め立て地の中につくられ、NPOの協力を得て運営されている。普段なかなか見ることができないところまで見せていただいた。評判も良いので秋の施設見学会の候補としても検討できる。

(6) その他 情報提供

【報 告】（事務局）

資料7を用いて説明

ブルーカーボン研究会が設立され、来る6月1日に講演会が実施される。佐々木PT長も講師としてご出席される。フォーラム関連の行事として興味のある方、関係の方含めてご紹介いただければと思う。

5-3 閉会

委員長が閉会を宣言

以上